



Cincom Smalltalk™  
VisualWorks®



## 純粹・機敏・柔軟。

あきらめていた複雑な業務を  
迅速にシステム化する  
オブジェクト指向統合開発環境。

ユーザーが語るCincom Smalltalk-VisualWorks

### アイデアを素早く試行し より深い思考による高度なシステムを実現する Cincom Smalltalk-VisualWorks

「より深い思考による高度なシステムの実現には、アイデアの素早い試行の積み重ねが大切」と強調する東京大学大学院教授の青山和浩様。その考えを具現化する開発環境として、Cincom Smalltalk-VisualWorksを活用しています。評価ポイントなど、詳しいお話をうかがいました。

#### 設計・生産支援システムを研究 アイデアの試行錯誤で研究前進

私の研究テーマは知的情報マネジメントを実現するための情報モデリングです。設計図など構造化された情報ではなく、ノウハウやプロセスといった非構造化情報をいかに蓄積・共有・活用していくかに重きを置いています。

実際の研究活動では、その考えを具現化した設計・生産支援システムの構築に取り組んでいます。例えば、人工衛星の設計・開発向けのトップダウン指向設計支援システムがあります。他に船舶や自動車、家電などの生産や開発のプロジェクト支援などもあります。

学内での研究に加えて、民間企業などとの共同研究、いわゆる産学連携もあります。いずれも大切なのは小さなシステムから実際に開発することです。アイデアを実際にシステム化し検証して試行錯誤を繰り返す——その積み重ねが思考の深化につながり、研究を前進させ、大きなシステムに育て上げることができるのです。

#### VisualWorksを採用 より深い思考による高度なシステムを実現

こうした理由から、開発環境にVisualWorksを採用しています。特にSmalltalkは、他のオブジェクト指向プログラミング言語に比べて、頭の中に浮かんだモデルを簡単にプログラムで表現でき、すぐにプログラムを実行してモデルを評価できるので、アイデアを素早く試行できます。さらに、VisualWorksでは、データベースとの連携や分散環境の構築などは開発環境側で行ってくれるため、研究活動において思考のエネルギーをプログラミングばかりに奪われることなく



東京大学大学院 工学系研究科  
環境海洋工学専攻 教授

青山和浩様

本来やりたいことの実現に専念できます。

プログラミングについても、強力なデバッガでデバッグしながら開発・検証できる点などが、アイデアの素早い試行を助けてくれます。このようにVisualWorksは、他の言語や開発環境と比べ、同じ時間で数倍近く試行錯誤が繰り返せるシステムを作ることができるため、より深い思考による高度なシステムの実現が可能となります。

大学では、毎年学生が入れ替わる中で研究を継続しなければなりません。VisualWorksは実行途中のインスタンスを仮想イメージとして保存でき、リファクタリングが容易なので、研究の継続性にも貢献します。VisualWorksをフル活用してさらに研究を深めたいと思います。



シンコム・システムズ・ジャパン 株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5メソニック39M Tビル TEL 03-3438-2792 FAX 03-3438-1823

<http://smalltalk.cincom.jp>